瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和5年1月10日（火） NO.29 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

3学期のスタート

快晴の穏やかな元日を迎え、「今日の天気のように今年一年が良い年になりますように。」と多くの方々が思われたことでしょう。新年あけましておめでとうございます。今年も生徒の健やかな成長のために、保護者及び地域の方々のご支援・ご協力のもとに教職員一同、精一杯頑張っていきたいと考えています。よろしくお願いします。

本日、3学期の始業式をオンラインにより実施しました。コロナ禍の第8波の中でのスタートということで、全校生徒の集合によるリスクを少しでも回避しようという思いでした。しかし、前半はスムーズに進んだ始業式でしたが、途中から音が途切れる状態となり今後に大きな課題が残りました。

始業式で校長からは、「1つのことを決めて、17日間実行することが出来ましたか？3年生は学力という貯金をたくさん貯めることが出来ましたか？という2つの問いかけ。そして、3学期はまとめと準備の学期であるということ。『まとめ』とは、これまでの9か月間の成長を示すということ。『準備』とはこれまでの成長に厚みを付ける努力をすること。課題を克服する努力をすること。この努力によって新しい自分を作り出すこと。その準備をしっかりして、次のステップである進級・進学に臨んでほしい。そして、良い年は向こうからやってこない。良い年にするぞという強い思いをもって前に進んでいきましょう。（概略）」という話をしました。

その後、各学年の代表（1年：江﨑 莉衣子さん 2年：雪屋 晴香さん 3年：永尾 知帆莉さん）が、3学期の目標や抱負等を力強く述べてくれました。しかし、前述した通り、途中から音声が途切れるなど、せっかくの発表を十分に伝えることができませんでした。その内容については、次号で紹介しますので、そこで改めて3人の思いを感じてほしいと思います。また、全校生徒一人一人が同じような思いを抱いて3学期のスタートを切っていると思います。その思いの実現のために頑張ってくれることも期待しているところです。全校生徒が各学年の代表と同じ気持ちで今学期に臨んでくれたら素晴らしい「まとめと準備の3学期」になることでしょう。

2学期の振り返り

1年1組 吉弘 隼人くん

僕が2学期に頑張ったことは3つあります。1つ目は、2学期になって初めて学級委員（後期）に挑戦したことです。学級委員は学級をまとめることだけでなく、学級を引っ張っていく役割があります。そこで、学級をまとまりのあるクラスにすることを目標として頑張ってきました。しかし、学級をまとめることは簡単ではありませんでした。クラスのみんなに声をかけたり、注意することがあまりできず、騒がしくなることが多かったです。なので、3学期はもっと積極的に学級委員という仕事を精一杯頑張っていきたいと思います。2つ目は、自学や

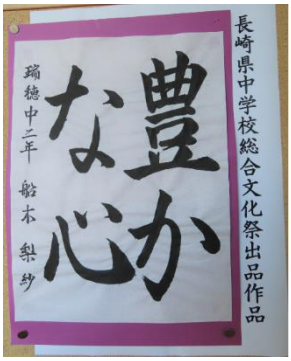
提出物の徹底です。僕たちの学級目標は「凡事徹底」です。当たり前のことを徹底的に行うという意味です。この学級目標を1年で達成できるように意識していました。しかし、1学期はその目標をあまり気にしておらず、提出物などが期間を過ぎてしまうことが多かったです。それで、2学期に入り1学期の頃とは気持ちを入れ替え、自主学習への取り組み方、提出物を期限までに出すということを心がけました。さらに、授業態度を改善したり、発表する機会を増やすことを徹底して取り組みました。すると、忘れ物をする回数が減り、学校内だけでなく普段の生活態度も良くなりました。そのことを頭から離さず意識してできるようになりたいです。3つ目は、地域の方との接し方です。僕は地域の方に会うと必ずあいさつをするように心がけてきました。その行動が習慣となり、あいさつをすることが当たり前と思うようになりました。あいさつをすることは「面倒くさい」や「したくない」等の意見があると思います。しかし、あいさつをされた側の気持ちはうれしさや、あいさつをしてくれてありがとうといった、様々な心情があると思います。だから、相手の気持ちを考えながらあいさつをすることが大切だと思います。また、あいさつだけではなく、地域行事に参加したり、ボランティアの方と協力することもあります。活動があった時は積極的に参加していきたいと思います。3学期は、2年生になる準備期間です。なので、今取り上げた3つのことをさらに意識して、次入学してくる1年生のお手本となれる人間になりたいです。

2年1組　上田　秀斗くん

僕は2学期、心に残っていることが2つあります。1つ目は、瑞中発表会です。2年連続の金賞を目指し、各パートの特訓を重ね、全員で力を合わせて、一生懸命歌いました。来年はもっと素晴らしい歌声を響かせたいです。2つ目は、修学旅行です。ただ楽しかっただけではなく、僕たちは「職業観育成プログラム」というものを実践し、3日間の旅行の中で、講話を聴いたり、インタビュー活動をしたり、多くの職業に触れることができました。ただ、2年生にはいくつかの課題も残りました。それらは3学期に必ず解決しなければなりません。何事も、言われる前に考えて動き、学年全体の合い言葉のようになっている「一流」を学年全体で目指します。2年生のみなさん頑張りましょう！

3年1組　小笹　朋史くん

長いと思っていた2学期も、今日で終わります。そこで、2学期を振り返ってみることにしました。まずは良かった点です。僕たちのクラスは、男子女子の仲が良く団結力があります。休み時間はクラスがとても明るい雰囲気です。次に反省点ですが、休み時間は明るい雰囲気で良いのですが、そこから授業へのけじめがつかず、私語をしてしまいます。他にも、給食中の時でも、友達と会話をし、先生から何度も注意されました。だから、そこを僕が注意できるようにして、3学期からは活気のあるクラスを創っていこうと思いました。最後に、僕たちは受験があります。受験は個人戦ではなく、団体戦です。受験生として受験勉強をしっかりやり、それぞれ皆が希望する高校へ進学できるようにし、来年の春には、笑顔で卒業を迎えることができるようにしたいです。



左の書は、令和4年度の長崎県中学校総合文化祭に本校から出品された2年　船木　梨紗さん　の書です。とても上手で感心させられます。校長室横の廊下側の掲示コーナーに掲示されています。この書を毎日目にするたびに、こういった心持ちの生徒にあふれる瑞穂中学校を思い描きます。そして、「今日も頑張ろう」という気持ちが自然に湧いてきます。特に指導・支援に携わる我々大人が「豊かな心」を持たなければ、子どもに通じることはないだろうという思いを強くし、教育活動に取り組んでいきたいと思っています。